

## 福岡県広川町と NS マテリアルズ、 久留米・広川新産業団地企業立地基本協定を締結 ～100 億円規模の企業投資を誘致～

福岡県広川町（町長：渡邊 元喜、以下：広川町）、一般財団法人 久留米市開発公社（理事長：川原 伸 孝、以下：久留米市開発公社）は、NS マテリアルズ株式会社（代表取締役社長：金海 榮一、以下：NS マテリアルズ）と、久留米・広川町新産業団地企業立地基本協定を締結したことを本日発表します。NS マテリアルズは、本協定に基づき、同産業団地内の 3,555.42m<sup>2</sup> の敷地面積に、第 1 期工事として 500m<sup>2</sup> 規模の第 1 工場建設を平成 27 年 10 月 1 日より開始します。月産 6 トン規模の量子ドットの生産を可能にする新工場の操業は、平成 28 年 4 月 1 日を予定しています。

また、NS マテリアルズは、第 2 期工事として、平成 28 年 10 月より第 2 工場施設の建設工事（規模：1500m<sup>2</sup>）を着工し、平成 29 年 12 月の操業を目指します。第 1 工場と第 2 工場を合わせた量子ドットの生産量は、月産 20 トン規模になります。本生産拠点以外の拠点整備も計画しており、平成 28 年 7 月までに筑紫野市に研究開発センターの開設、また平成 29 年には福岡市に本社機能の移転を予定しています。NS マテリアルズが自社の企業活動に対して福岡県で行う投資は、平成 29 年末までに 30 億円、今後 5 年間の合計総額 100 億円規模になる予定です。NS マテリアルズは、今後も福岡県での投資を継続し、雇用促進を含む地域経済の活性化に貢献していきます。

福岡県知事 小川洋氏談：

「NS マテリアルズ株式会社の久留米・広川新産業団地における新たな製造拠点の設置を心からお喜び申し上げます。御社は、平成 18 年の創業以来、本県を拠点に研究開発を行われ、世界に先駆け、LED 用の新しい蛍光体である「ナノ蛍光体」の量産技術を確立されました。この技術は、次世代テレビの高精細ディスプレイなど、新しい分野での需要拡大が見込まれています。福岡県の企業が技術を開発され、しかも、その製品の生産拡大を県内で行っていただくことを大変ありがたく、誇りに思っています。福岡県は、成長著しいアジアに近く、陸海空の交通アクセスも充実しています。また、自動車、ロボット、バイオといった先端成長産業が集積するなど、ビジネスを国内外に展開するにあたり、数多くの強みがあります。NS マテリアルズ株式会社におかれましては、こうした福岡県の強みを活用され、更なる発展を遂げられますよう、ご期待申し上げます。」

### NS マテリアルズ株式会社 企業概要

- 代表者： 代表取締役社長 金海榮一
- 本社所在地：福岡県筑紫野市立明寺 511-1
- 設立：平成 18 年 5 月
- 資本金：3 億 1 千 8 百 9 千円
- 従業員：30 名
- 業務内容：業務内容：ナノ粒子材料研究開発および量産  
医療機器製造

### 久留米・広川町新産業団地について：

「久留米・広川新産業団地」は、平成10年に共用開始された九州自動車道・広川インターチェンジの隣接地に、九州全域を視野に入れた機能性と快適性を合わせ持つ「広域流通加工拠点」を整備するものです。この団地はインランド・デポ（内陸通関拠点）の機能を活用した保税蔵置場（倉庫）の設置が可能です。インランド・デポとは、内陸部で、国際物流に係わる貨物を取り扱うことができる輸出入貨物取扱拠点です。インランド・デポ内に保税蔵置場（倉庫）を設置することにより、倉庫の保管料、運賃、労務費等のコストが軽減されるメリットがあります。

### NS マテリアルズ新工場イメージ：



#### 【本件に関する問い合わせ先】

広川町・久留米市開発公社・NS マテリアルズ広報事務局（清水・神谷）

TEL：03-5269-1038

MAIL：hkn@jspin.co.jp

FAX：03-5269-1039